

もっと

地域とつながる

高度医療を通じて多様な精神疾患に対応します

京大病院の精神科神経科では、大学病院・特定機能病院の診療科として、主に重度の精神疾患や神経疾患を診療しています。

2021年秋には、西病棟から北病棟へ移転を行い、より明るく、快適な環境となりました。

今後も、院内の各部署や地域の医療機関と連携しながら、より一層患者さんを支えていきます。



左から【デイ・ケア診療部】助教 鶴身 孝介 【精神科神経科】外来医長 助教 上床 輝久 【精神科神経科】精神保健福祉士 米田 拓矢

地域の先生と連携しながら 患者さんに最善の医療をお届けします

昨年秋の移転によって、病棟設備全般が新しく明るくなり、より親しみやすい雰囲気になりました。各部屋のイメージも一新され、患者さんにとって快適な環境になっています。また、他の診療科との物理的な距離も近くなったため、相互連携がよりスムーズになったほか、患者さんの身体的な症状に対しても迅速に対応できるようになりました。

病床数は、大学病院の精神科として最大規模となる60床、その他保護室6床、観察室3床※を保有しています。患者さんの

プライバシーを尊重した個室を新設し、実際に利用された方から「ゆっくり休める」と好評の声をいただいています。

京大病院は、特定機能病院として高度な医療を提供する役割を担っています。例えば、難治性の統合失調症の方に対し、厳重な管理が必要な処方薬による治療を行ったり、難治性の気分障害の方に電気けいれん療法(ECT)を行っています。地域のかかりつけ医

※現在は規模を縮小して稼働中



精神科神経科
外来医長 助教
上床 輝久

より本院へ紹介いただき、治療が落ち着いたら再び地域の医療機関に引き継ぐ。こうした地域全体の機能分担・連携によって患者さんを支えています。本院の精神科神経科には、精神科領域を専門とする複数のソーシャルワーカーが在籍し、多様な疾患の患者さん一人ひとりに適切な支援を行っています。

充実した精神科リハビリテーションで 入院・外来間のシームレスな支援を提供

本院は、精神科リハビリテーションが充実しているのも特色の一つです。デイ・ケア診療部では、就労や生活の自立に向け、個々の患者さんに合わせた多様なプログラムを提供しています。例えば、入院患者さんには精神科作業療法として病棟内での軽い運動、料理、手芸などの活動を、外来患者さんには園芸、音楽、スポーツなどのグループ活動と生活技能訓練などのプログラムを実施しています。担当スタッフの話し合いのもと、患者さんの病状や適性に応じたプログラムを選択し、その活動の様子をスタッフが観察することで評価を行います。入院、外来患者さんの両方に対して精神科リハビリテーション施設を備えている大学病院は珍しいですが、京大病院では古くよりこの取り組みを実施してきました。新型コロナウイルス感染症の影響で、今は患者さんに十分に利用いただくことができませんが、感染対策を行いながら新しくなった施設を、患者さんのために役立てていきたいです。



デイ・ケア診療部
助教
つるみ こうすけ
鶴身 孝介

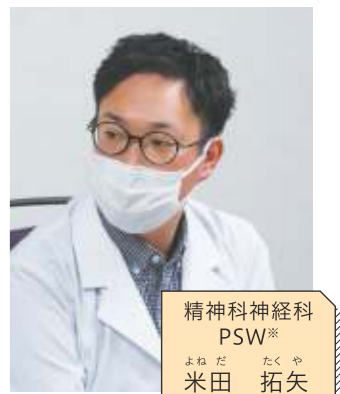
本院は大学病院として、研究を通して新しい治療法を開発する役割も担っています。統合失調症やうつ病、器質性精神疾患のメカニズムを明らかにする研究のほか、私自身はギャンブル依存症に関する研究を行っています。これらの研究と関連したリハビリテーションプログラムも一部実施しており、多くの患者さんから研究にご協力いただくことで、日本全体の精神医療の向上につながると自負しています。

患者さん一人ひとりに最適な支援の提供と 地域医療・支援機関とのつながりを大事に

精神科疾患の患者さんに対する支援は、その疾患の特性に合わせた支援機関や制度が多様に用意されています。本院でも、精神保健福祉士(PSW)を配置した「精神科相談室」を当科内に設置しており、これらの支援機関との調整や、精神科疾患の患者さんに特化した受診・入退院の支援などを実施しています。

PSWは、患者さんをひとりの「生活者」として捉え、本院の受診に至るまでの生活の様子や、治療を受けながら今後どのような暮らしを希望されるかなどをじっくり伺い、退院後の安心できる生活に向け、様々な地域の医療機関や支援機関につなげるのが役割です。

京大病院には、摂食障害や発達障害、依存症、高次脳機能障害などの疾患を抱えた多様な患者さんが来院されます。私たちPSWは、これらの難しい症例や重症の患者さんに対しても、積み重ねてきた経験をもとに、一人ひとりに最適なケースワークを実践しています。今後も、地域全体で患者さんを支援できるよう、他の支援機関やケアマネジャーなどと些細なことでも情報交換を行い、各機関との顔の見える関係づくりやつながりを大事にしていきたいと思っています。



精神科神経科
PSW※
よねだ たくや
米田 拓矢

※Psychiatric Social Worker = 精神保健福祉士

患者さんを支える仕組み

京大病院は、地域のかかりつけ医を通して受診予約を受け付けており、地域医療機関と連携することで、患者さんに高度医療を提供する仕組みを整えています。

